

**【第302号 紙面案内】**

第2～3面…理事会報告 第74回全国研究大会関連

第4～9面…各部会から

第9～10面…第75回全国研究大会自由論題の募集 委員会・事務局から

国際委員会の活動について

国際委員長 文 載皓 (常葉大学)

2016年6月に駒澤大学で第73回の全国研究大会が開かれた際には、韓国経営教育学会からの一行6名(会長、国際委員長、報告者2名、訪問者2名)が日本を訪れるなど活発な交流が行われました。その懇親会の席には、特に会長の鄭先生からのご挨拶とともに、今後の学術交流のために日本マネジメント学会の機関紙である『経営教育研究』の中から優秀な論文を選別して表彰したいという意向を述べられるなど過去より積極的な提案もありました。

上にも触れたように、同大会には、韓国経営教育学会から2名の報告(1. Hyoung-Goo Kang, Hanyang University, “Corporate Social Responsibility: A Behavioral Theory of the Firm Perspective” 2. Jun-Hwan Yang, Dankook University, “Relational Support as Moderator in Self-Efficacy and Entrepreneurial Intention of Korean University Students”)があり、司会は委員長の私が担当をしました。各々20分という限られた時間の中で報告と質疑応答が行われる中、近年の経営学分野におけるホットな話題を中心に活発な討論が行われたのは大きな成果の一つとして考えています。

一方、2016年11月26日(土)に韓国の嵩実大学(ソウル所在)で開かれる予定の韓国経営教育学会の秋季学術大会には、日本マネジメント学会を代表して高崎商科大学の河合博子氏(発表テーマ: An Attempt at Innovation Education: A University-Industry-Government Collaboration Program)が参加する予定です。それ以外の活動として日本マネジメント学会の歴史や運用体制(特に部会)について紹介の時間も設けられています(和光大学の當間政義氏による講演)。これは韓国側の要請によるものです。

さらに、今後の課題として韓国以外の国との国際交流の拡大を模索していますが、国際委員会の中ではシンガポール、タイ、台湾などの国が対象国として取り上げられています。

理事会報告

日時：平成 28 年 10 月 14 日 (金) 17:00 から

場所：流通科学大学 研究講義棟 3 棟 1 階 3111 会議室

議 題**(1) 第 74 回全国研究大会の準備状況の報告**

第 74 回全国研究大会のプログラム、準備状況等についての説明があった。

(2) 会員の入退会の承認について

入会（個人 2 名）、退会（個人 3 名）が承認され、合計（個人 642 名、法人 5 社）となったことが報告された（平成 28 年 10 月 14 日現在）。

(3) 各委員会、各地方部会、各研究部会からの報告

各委員会、各地方部会、各研究部会から活動状況についての説明があった。

(4) 第 75 回全国研究大会について

第 75 回全国研究大会が東洋大学で開催されることが報告され、承認された。

(5) その他

会員名簿を作成することについての議論が行われ、会員名簿を作成することが承認された。

◇◇第74回全国研究大会・企業見学記◇◇

村田 大学（創価大学）

今大会では、10月14日(金)に株式会社増田製粉所を見学させて頂いた。当日は、①会社概要の説明、②武政亮佐社長のご挨拶、③同社の紹介ビデオの鑑賞、④工場見学、⑤質疑の流れで進められた。

ご担当者様や武政社長のお話、またビデオ鑑賞を通して、製粉業界や増田製粉所の概要をご説明頂いた。小麦粉は、グルテンの含有量が多い順に、①パンなどに使用する強力粉、②うどんなどに使用する中力粉、③ケーキなどに使用する薄力粉の3種類に分けられる。増田製粉所は、製品に占める薄力粉の割合が日本で一番高いという。一般的な事業者のその割合は約15%程度であるが、増田製粉所では約60%に上る。

工場では、製粉から出荷までの工程を見学させて頂いた。小麦は表皮、胚乳、胚芽からなり、小麦粉は胚乳を粉にしたものである。だが、その複雑な構造故、小麦を削って胚乳だけを取り出すことはできない。そのため、製粉工程は、小麦を引き裂く作業と胚乳だけを回収する作業が繰り返し行われる。工場見学では、担当者様にご説明頂きながら、これらの作業を行う機械の動きを間近で見学することができた。

衛生など様々な事情から食品原料メーカーの工場を見学する機会はなかなかない。また工

場見学後の質疑でも大変丁寧にご対応頂いた。ご多忙の中、このような貴重な機会を頂いた増田製粉所の皆様に深く感謝申し上げます。

◇◇第74回全国研究大会参加記◇◇

大杉 奉代 (香川大学)

日本マネジメント学会第74回全国研究大会は、2016年10月14日(金)から10月16日(日)までの3日間にわたり、流通科学大学で開催された。統一論題のテーマは、「地方創生のマネジメント」であった。

15日の産学シンポジウムでは、14日に企業見学を行った株式会社増田製粉所代表取締役社長武政亮佐氏による「食生活の変化と企業経営」についての講演が行われた。伝統を守りつつ新しいことにチャレンジしていくことが企業経営において重要であることなどについてお話しいただいた。

統一論題では、松原茂仁先生による「地方創生とアグリビジネス」、稲松敏彦氏による「地方創生 - 神戸市の取り組みと課題 -」、毛利雄一氏による「国土のランドデザイン」の報告がなされ、コメンテーターによる報告のまとめと問題提起がなされた。

記念講演は、一般社団法人ノオト代表理事の金野幸雄氏による「地域創生と古民家再生のマネジメント」であった。空き家となった古民家をその土地に根ざした食文化や生活文化とともに再生していくことの重要性についてお話しいただいた。

16日は、前半のセッションで統一論題が行われた。岸野都市交通計画コンサルタントの岸野啓一氏による「最近の観光まちづくりマネジメント事例」、庄野慶紀先生による「食農による地域創生のフレームワーク」の報告がなされ、コメンテーターによる報告のまとめと問題提起がなされた。

15・16日の両日行われた自由論題では、研究報告11本が行われた。諸先生および、院生の多岐にわたる研究テーマ報告に対し、活発な議論が行われた。

最後に、本大会の準備・運営にご尽力をくださった木村敏夫先生、流通科学大学のスタッフの皆さま、企業見学にご協力いただいた株式会社増田製粉所の方々、ご多忙な中、記念講演をお引受けくださった金野幸雄氏、ご報告くださった武政亮佐氏、稲松敏彦氏、金野幸雄氏、岸野啓一氏に厚くお礼を申し上げたい。

◇◇北海道・東北部会からのお知らせ◇◇

北海道・東北部会長 大平 義隆（北海学園大学）

本年度の北海道・東北部会を経営哲学学会東北部会と合同で開催いたします。多くの部会員の方々の参加をお待ちしています。また、部会以外の方々のお越しを大いに歓迎いたします。会場で大いに議論し、語り合いたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

日 時：12月17日(土) 13時から17時まで

場 所：東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター セミナー室
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1 エクステンション教育研究棟6階
TEL：022-217-6265 FAX：022-217-6266
青葉通一番町駅（仙台市地下鉄東西線）南1口より徒歩約10分
<https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/access/>

報告1：「いわきの優良企業の強さに共通するもの（仮）」

土谷 幸久 氏（いわき明星大学）

報告2：「ソーシャル・キャピタルと被災地支援 CSR：企業とNPOの協働事例を中心に」

高浦 康有 氏（東北大学）

パネルディスカッション：「復興と経営学」

司会進行 大平義隆（北海学園大学）

パネラー 調整中

*研究会終了後に懇親会を予定しております。

*参加ご希望の方は、杉田博（石巻専修大学）まで電子メール（hsugita@isenshu-u.ac.jp）にてご連絡ください。

◇◇平成28年度第2回関東部会開催報告◇◇

下境 芳典（東洋大学現代社会総合研究所）

平成28年9月17日(土)14:00より平成28年度第2回関東部会が東洋大学白山キャンパスにおいて約30名の参加者を得て開催された。

第1報告は松村洋平氏（立正大学）による「文系大学による持続可能な産学交流・地域連携」、司会は當間政義（和光大学）、コメンテーターは村井淳氏（東京急行電鉄）であった。本発表では数例の事例が示されたうえで、仮説が検証された。質疑においては、この種の連携に携わった経験を持つ方からの質問もあり、大学という性質上、毎年学生が入れ替わりながら活動を継続する方法などが討議された。本論題は近年の大学が求められている社会貢献

活動に直ちに活用でき、関心も高いと思われるため、今後の研究の発展が期待される。

第2報告は夏芸氏（中国湖南大学・立教大学大学院）による「中国における民営非学歴高等教育機関の経営行動」、司会は河合博子氏（高崎商科大学）、コメンテーターは鈴木岩行氏（和光大学）であった。“非学歴高等教育機関”という用語は、あまりなじみのないものであるが、発表者によって日本でいう短期大学のようなものであるが、学位の発行はないものであるという説明がなされた。発表者自身が実際に学校を経営しているということもあり、実際の発表であった。

第3報告は細萱伸子氏（上智大学）と新井範子氏（上智大学）による「女性のグローバルキャリア形成に関する意思決定とキャリアサバイバル」、司会は佐藤一義氏（立正大学）、コメンテーターは内田賢氏（東京学芸大大学）であった。クレジットでは連名となっているが、当日の発表は細萱氏からなされた。本報告は昨今注目されているグローバル人材となる女性が、どのようにそのキャリアを築いていっているのか、アンケート調査を行い類型化したものであった。本研究は学術的な成果のみならず、グローバル人材になることを目指している女性にとって、有用な指針を示すことも期待される。

今回の発表は3本ともふんだんに事例やアンケート結果が含まれるものであった。いずれの報告の質疑でも、時間いっぱいまで挙手があり、大変に活発な議論がなされ、発表者にとっても参加者にとっても意義深い報告会であった。

◇◇関東部会からのお知らせ◇◇

佐藤 一義（立正大学）

日本マネジメント学会関東部会を下記の通り、開催いたします。今年度第3回目となる今回の関東部会は、企業の見学と経営者による報告会を予定しています。経営の実情を踏まえ、経営教育あるいは事業継承等、様々な研究課題にかかわる報告が期待されます。会員の皆様、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成28年12月17日(土) 14:00～

会 場：株式会社伸光製作所+立正大学

会 費：1,000円

集合時間：14:00

集合場所：東急目黒線西小山駅改札口

プログラム：

●企業見学（14:15～15:15）

…株式会社伸光製作所本社工場（東京都品川区荏原5丁目7番3号）

●報告とディスカッション（16:00～17:30）

…立正大学 11 号館 8 階第 6 会議室（東京都品川区大崎 4 丁目 2 番 16 号）

報告テーマ「中小企業の発展と事業承継」

報告者：角田正典（株式会社伸光製作所 代表取締役社長）

コメンテーター：井上善海（東洋大学）

司会者：加藤茂夫（専修大学）

●懇親会：18：00

（会費 3,000 円）

なお、企業見学については人数に限りがございますので、参加ご希望の方は関東部会長までご連絡下さいますようお願い申し上げます（先着 30 名とさせていただきます）。また、報告とディスカッション（16：00 立正大学）からご参加頂くことも可能です。

※お問い合わせ先 関東部会長 佐藤一義（sato@ris.ac.jp）03-3429-7255

◇◇中部部会からのお知らせ◇◇

水野 清文（奈良学園大学）

日本マネジメント学会中部部会では、第 54 回中部部会を、経営行動研究学会、経営哲学学会との 3 学会合同により開催予定です。皆様奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●日 時：平成 28 年 11 月 19 日（土）13：00～

●場 所：東海学園大学栄サテライト

●プログラム

報告（報告 35 分、コメント 10 分、質疑 15 分）

第 1 報告：13:00～14:00 韓 三澤（愛知工業大学大学院）

「経営システムにおけるからくり（しくみ・しかけ）に関する研究（仮題）」

司会・コメンテータ：辻村 宏和（中部大学）

第 2 報告：14:00～15:00 東 俊之（金沢工業大学）

「初年次教育による大学定着についての事例報告 —組織論的視点による考察—」

司会・コメンテータ：藤木 善夫（東海学園大学）

<5分休憩>

講 演：15:05～16:05 大平 義隆（北海学園大学）

「ホフステッドの分類と、行動形成の考え方」

司会：櫻井 克彦（東海学園大学）

<10分休憩>

第 3 報告：16：15～17：15 神谷 泰範（東邦ガス株式会社）

「東邦ガスグループにおけるコンプライアンス活動の現状と課題」

司会・コメンテータ：津田 秀和（愛知学院大学）

議 事：17:15～17:30

参加費等：参加費 500 円、懇親会費 3,000 円

お問い合わせ：中部部会長・藤木 善夫（0561-36-5555, fujiki@tokaigakuen-u.ac.jp）

詳細につきましては、中部部会事務局・水野清文（奈良学園大学 〒636-8503 奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12-1 TEL：0745-73-7800, k-mizuno@nara-su.ac.jp）までお問い合わせください。

また中部部会では随時報告者を募集しております。ご希望の方も上記水野宛にお知らせください。

◇◇関西部会開催のご案内◇◇

関西部会長 佐々木 利廣（京都産業大学）

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。さて、平成28年度日本マネジメント学会関西部会第2回例会を下記のとおり予定いたしております。皆さま奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

<報告会>

日 時：平成28年11月26日(土) 午後1時30分～午後4時40分

（開催場所が変更になっています）

場 所：関西大学100周年記念館第4会議室

大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

TEL：06-6386-3008

会 費：500円

13:30～開会の挨拶

※報告：35分、質疑応答15分

第1報告：時間 13:40～14:30

報告者：呉 賛（ウーユイン）（京都大学大学院経済学研究科博士課程）

テーマ：「中国における日本的経営の受容 - 全面品質管理の初期導入をめぐる -」

休憩時間：5分

第2報告：時間 14:35～15:25

報告者：西之坊 穂（摂南大学）

テーマ：「フォロワーシップが職務満足度に与える影響について

- 職種間の差に注目して -」

休憩時間：25分

第3報告：15：50～16：40（実務家招待講演）

報告者：ドクター・オブ・ジ・アース(株) 河村賢造代表取締役

テーマ：※「未定」

<懇親会>PM 5：30～7：30

※場所・金額 未定

※お問い合わせ先

関西西部会長 佐々木利廣 (sasaki@cc.kyoto-su.ac.jp)

関西西部会幹事 堀野亘求 (京都産業大学大学院)

携帯電話：090-8165-1809 E-mail：horino@osakanpo-center.com

◇◇日本国際マネジメント教育研究部会からのお知らせ◇◇

間嶋 崇（専修大学）

日本国際マネジメント教育研究部会を下記の通り実施いたします。

今回は、服部泰宏先生（横浜国立大学）をお招きし、経営学における実践性について先生の最近の研究「採用学」の観点から議論して参りたいと思います。

会員の皆様ふるってご参加くださいますようよろしくお願い致します。

日時：2016年12月3日(土) 14:30 -

場所：東洋大学白山キャンパス 6217 教室

会費：500円

<プログラム>

開会の辞：14:30-14:40

第一報告：14:40-15:20

報告テーマ：経営学における「理論と実践」：その乖離問題の展開

報告者：間嶋崇（専修大学）

第二報告：15:20-16:10

報告テーマ：日本的採用研究の挑戦

～理論、実証データ、リサーチ・プラクティス・ギャップ問題～

報告者：服部泰宏（横浜国立大学）

休憩：16:10-16:20

コメンテータ・コメント：16:20-16:30

コメンテータ：小沢一郎（専修大学）

16:30-17:00 質疑

ご出席希望の場合は、専修大学間嶋崇 t-majima@isc.senshu-u.ac.jp までご連絡ください。

第75回全国研究大会・自由論題報告募集

第75回全国研究大会は平成29年6月9日(金)～11日(日)に東洋大学において開催される予定です(確定後HP等でお知らせします)。この第75回全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

1. 応募資格

本学会の会員。

但し、第74回全国研究大会・自由論題として報告された方の応募はご遠慮下さい。

2. テーマ

本学会の目的に沿う以下のもの

- ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
- ・日本的経営および国際的経営の研究
- ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

3. 応募書類

応募には応募用紙の記入が必要です。日本マネジメント学会ウェブサイトの「学会規則」の「自由論題報告応募用紙の作成要領」より応募フォーマットをダウンロードし、注意事項を読んで原稿を作成し下記締め切り期日必着にて電子メールまたは郵送でお送りください。

4. 締切

平成29年1月31日(火) 必着

5. 応募先・問い合わせ先

日本マネジメント学会事務局(担当:武市顕義)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36 S&Sビルディング3階 (株)山城経営研究所内

TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233 E-Mail: name@kae-yamashiro.co.jp

機関誌委員会からのお知らせ

機関誌委員会委員長 中村 公一（駒澤大学）

機関誌への次回投稿の締め切りは、平成29年1月27日(金)です。投稿の際には、学会ホームページにあります投稿規程、執筆要領、組見本を遵守して下さい。最近の投稿で、文字数の超過や既定のレイアウトにしたがって書いていないものが複数ありました。このような場合は、受理できずに投稿者に返送することになります。投稿に際してのご質問は、事務局宛てにメールでご連絡をお願い致します。活発な投稿をお待ちしております。

会員の新刊著書を紹介します

学会事務局

- (1) 一瀬益夫著『すべての意思決定者のための経営情報システム概論』
株同友館 2,200円＋税
- (2) 谷内篤博著『個性を活かす人材マネジメント 近未来型人事革新のシナリオ』
株勁草書房 2,700円＋税
- (3) 大泉一貫、津谷好人、木下幸雄他共著『農業経営概論』
実教出版(株) 2,200円＋税

※会員の皆様の新刊著書を紹介しますので、事務局へ献本（1冊）をお願い致します。

編集後記

流通科学大学の全国研究大会は地域、創生、マネジメントを考えるうえで大変充実したものでした。新しい問題を先駆けて取り扱うのがこの学会の良さではないでしょうか。次号は2017年1月です。皆様の研究ご発展をお祈り申し上げます。

(会報委員会)

発行 **日本マネジメント学会**
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36
S&Sビルディング3F
株式会社山城経営研究所内 (担当：武市)
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: <http://www.nippon-management.jp/>
印刷 株ドットケイズ TEL 03-5206-1626
E-mail: win@good-ks.co.jp